

保証書

本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げいただいた日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、
弊社までお問い合わせください。

ご購入日： 年 月 日

製品名	IGOP01 サーモオートピット	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月以内※
お客様情報	□□□□-□□□□ TEL: - -		
購入先企業			

この保証書は、本書記載内容にて
サーモオートピットの無償交換をおこなうことを約束するものです。

- 保証期間内であっても以下の内容に該当するものは無償交換の対象外になりますのでご注意ください。
(1) 使用上の誤り、もしくは改造による故障または損傷。
(2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、塩害、輸送による故障または損傷。
(3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変並びに異常電圧、外部的要因による故障または損傷。
(4) お客様による修理や改造による故障または損傷。
(5) フリーマーケットやリサイクルなど個人売買を介して本製品を購入した場合。
(6) 本書のご提示がない場合。(ご購入日、販売店名が確認できない場合も含まれます。)
(7) メッキの摩耗や打痕、プラスチック部分の損傷。(すり傷やへこみなども含まれます。)
(8) 高温多湿な場所で保管するなどの保管上の不備、経年劣化、自然消耗による故障または損傷。
(9) バッテリーなどの自然消耗もしくは、本製品を海外での使用による故障または損傷。
(10) 腐食による故障または損傷。
(11) 取扱説明書の記載内容に反するお取り扱いによって生じた故障または損傷。
- 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
・本製品のご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。
・本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※ 保証期間は、ご購入年月日から起算した保証期間内に限ります。

アイグッツ株式会社 TEL:0120-83-6333 (受付時間:10:00~17:00/土・日・祝除く)

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目23-23 恵比寿スクエア6F

サーモ
オートピット
IGOP01 Ver.02

取扱説明書

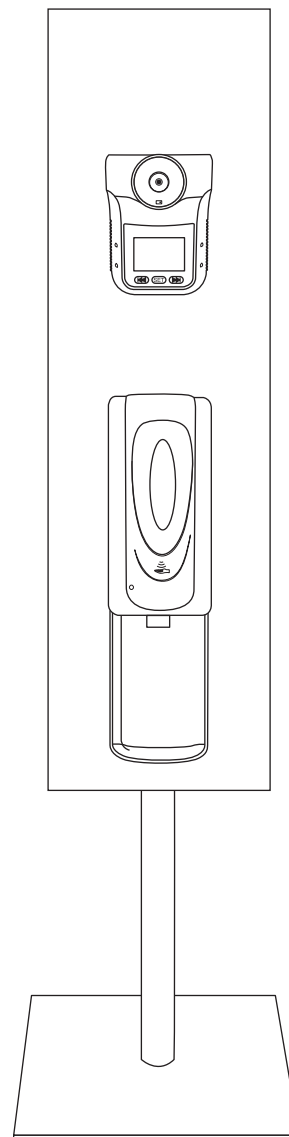
このたびは、サーモオートピットIGOP01をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

目次

- 仕様・構成部品
セット内容……………①
組み立て方法……………②
必ずお読みください……………④
- 温度測定センサー
各部名称……………⑤
電池の入れ方／測定時の距離……………⑤
画面表示……………⑥
各種設定方法……………⑦
安全上のご注意……………⑧
- オートディスペンサー
各部名称……………⑨
受け皿の組み立て／電池の入れ方……………⑨
詰め替え方法……………⑩
消毒方法／お手入れ方法……………⑩
使用上の注意……………⑩

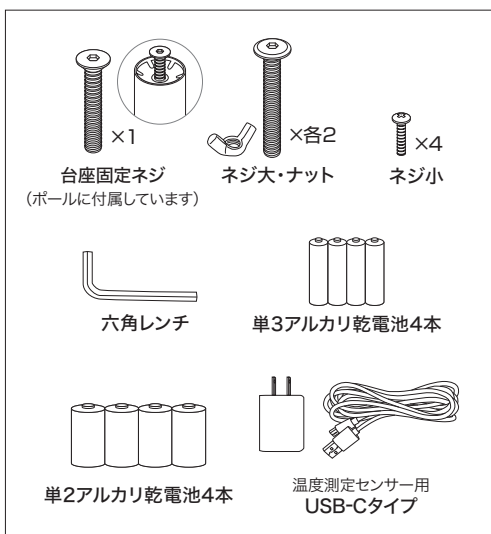
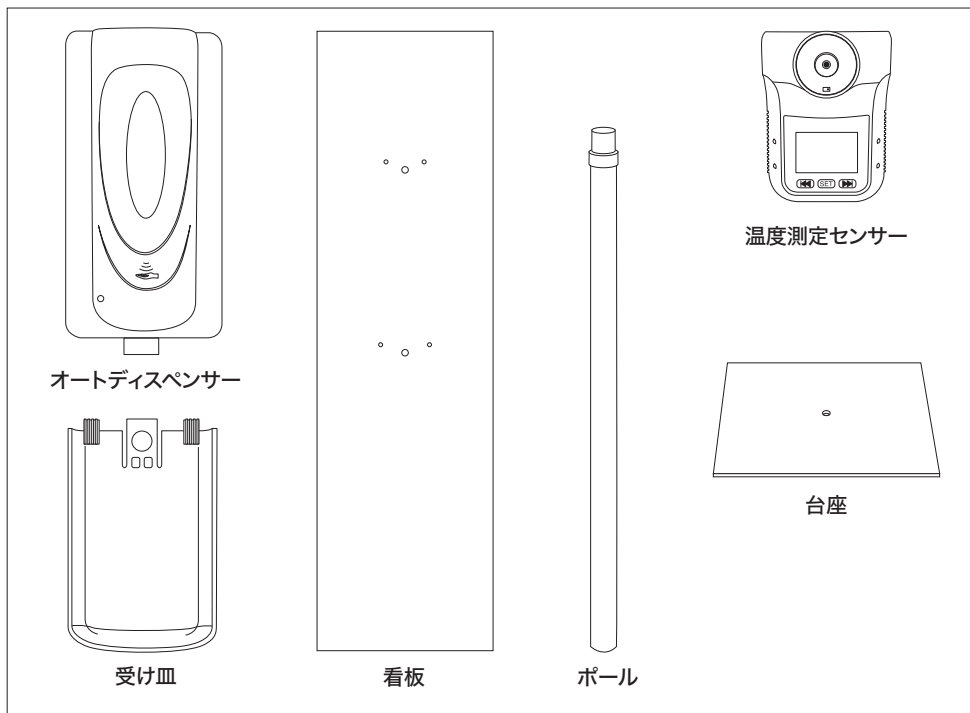
保証書付

製造元・お問い合わせ先:
アイグッツ株式会社 TEL:0120-83-6333
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-23
恵比寿スクエア6F
(受付時間:10:00~17:00/土・日・祝日を除く)



1 仕様・構成部品

セット内容



製品型番	IGOP01
測定精度	±0.2℃
測定可能範囲	5~10cm
電力供給方法	単3電池×4本
使用環境	10℃~40℃
測定時間	0.5秒で測定完了
その他機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告アラーム設定機能 ● 5秒以上操作がない場合 ディスプレイライトが自動OFF

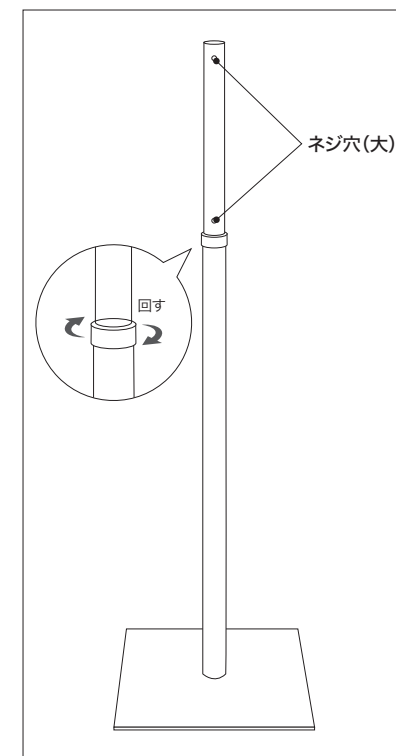
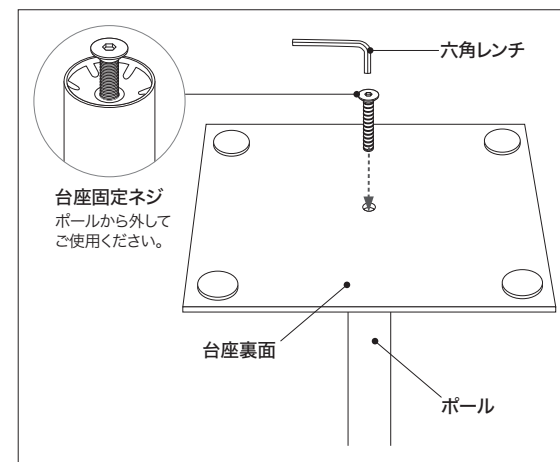
※在庫状況により、部品の形状が説明書の見本と異なる場合がありますが、組み立てや品質に影響はございません。

1

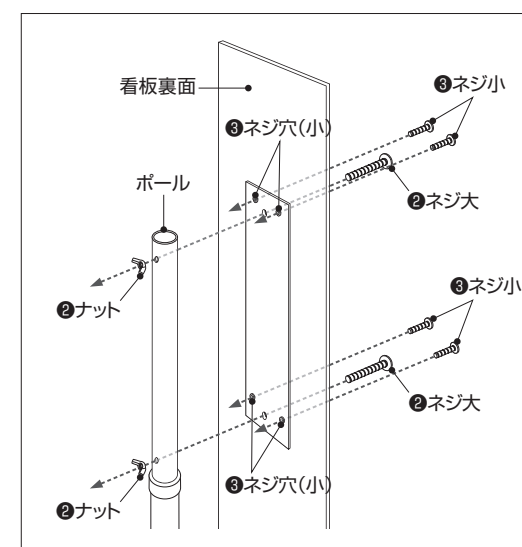
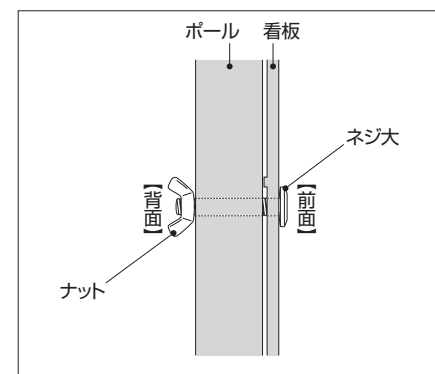
組み立て方法-1

組み立て・設置はお一人でも可能ですが、二人以上で行っていただくとより安全に作業いただけます。

- ① 台座の穴にポールを設置後、台座の裏側から「台座固定ネジ」をはめて六角レンチで固定します。
図のようにポールの上部をひねり、ネジ穴(大)が2点見えるまで伸ばします。



- ② 看板のネジ穴(大)の箇所にポールのネジ穴(大)を重ねます。ネジの頭を前面からはめ、六角レンチで固定します。
次に、ネジの先端にナットをはめて固定してください。

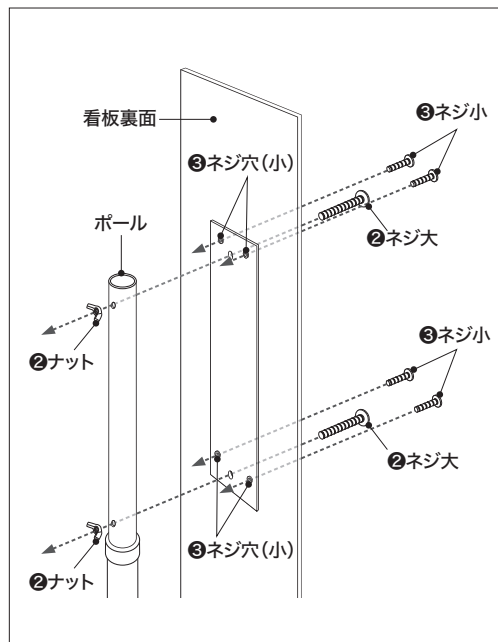
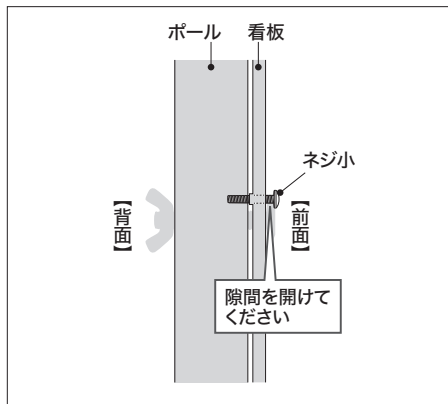


2

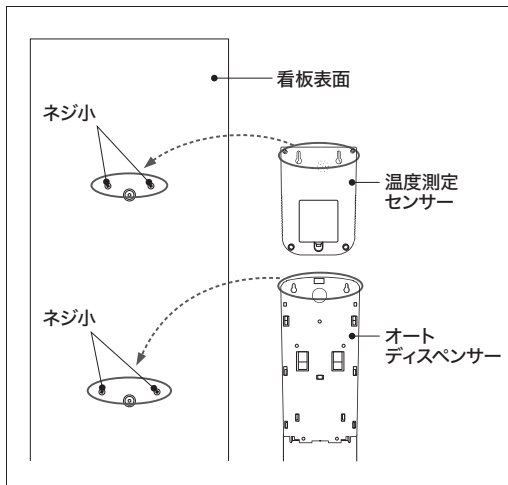
1 仕様・構成部品

組み立て方法-2

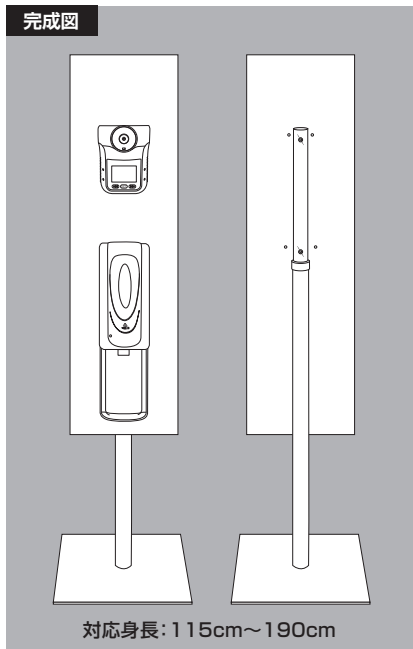
③前ページの②と同様の手順で、ネジ穴(小)にネジ小をはめて固定します。
図の様にネジの頭が少し飛び出ている状態にしてください。隙間がないと、製品が引っかかりにくくなります。



④ネジ小の固定箇所、「測定センサー」「オートディスペンサー」を引っ掛けて固定します。
引っ掛かりが甘いと、製品が落下するおそれがありますのでご注意ください。



3

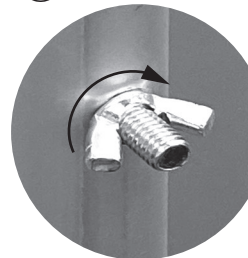


必ず
お読み
ください

本体がグラグラする際の 確認箇所と対処方法

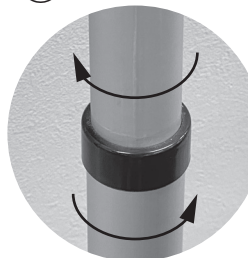
組み立て時、ネジやナットの締め付けが弱いと使用中にネジ類が緩み、本体がグラグラして不安定な状態になる場合がありますので、3箇所のネジが緩んでいないか、締め付けを確認してください。

① 蝶形ナット2箇所の締め付け



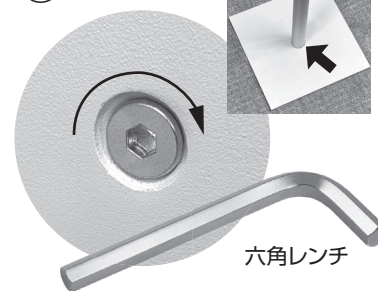
上下2箇所の蝶形ナットを右に回して、しっかりときつく締め付けてください。
ここを固く締め付けていないと、看板の固定が緩くなり、測定センサーとディスペンサーがグラグラしたり、落下してしまう恐れがあります。

② ポール同士の締め付け



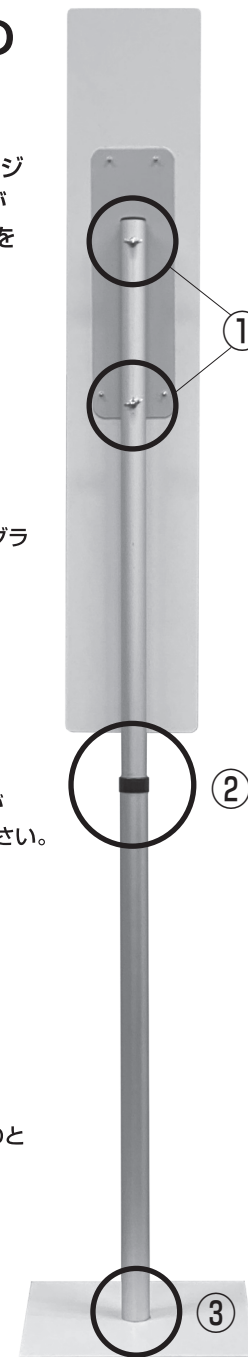
上側のポールを右にねじりながら、下側のポールは左にねじり、ポール同士がしっかりときつくお互いが固定されるように、固く締め付けてください。
この締め付けが緩いと、使用中に上側のポールが下側のポール内へ落下してしまう場合があります。

③ 底板の固定



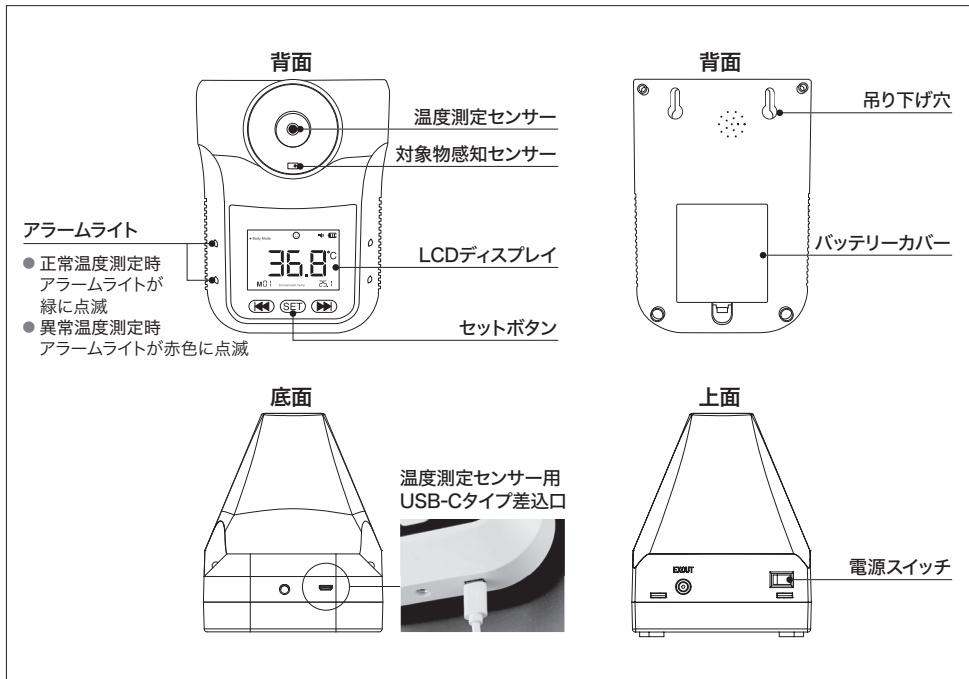
底板の裏側からポールを固定している六角ネジを、付属の六角レンチでしっかりと右へまわして締め付け固定をしてください。
締め付けが緩い場合、ポールが不安定になります。

4



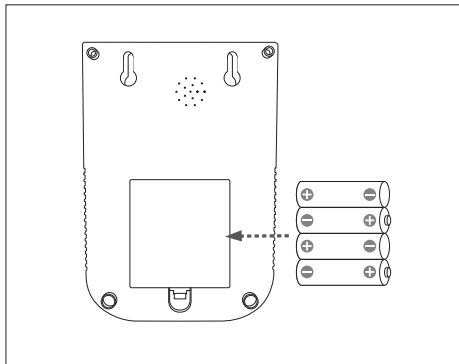
2 温度測定センサー

各部名称



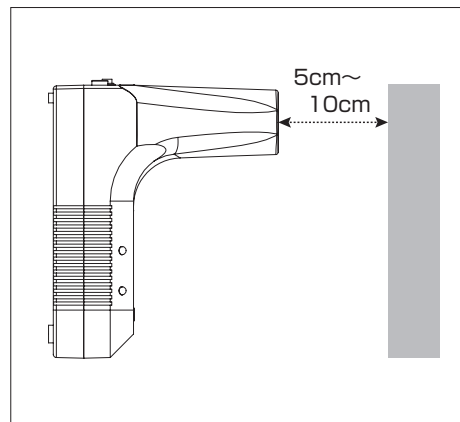
電池の入れ方

図の様に背面のバッテリーカバーを外し、付属の単3アルカリ乾電池を入れてからご使用ください。
※温度測定センサー用USB-Cタイプをご使用
いただいた場合は、乾電池なしでもご利用いただけます。

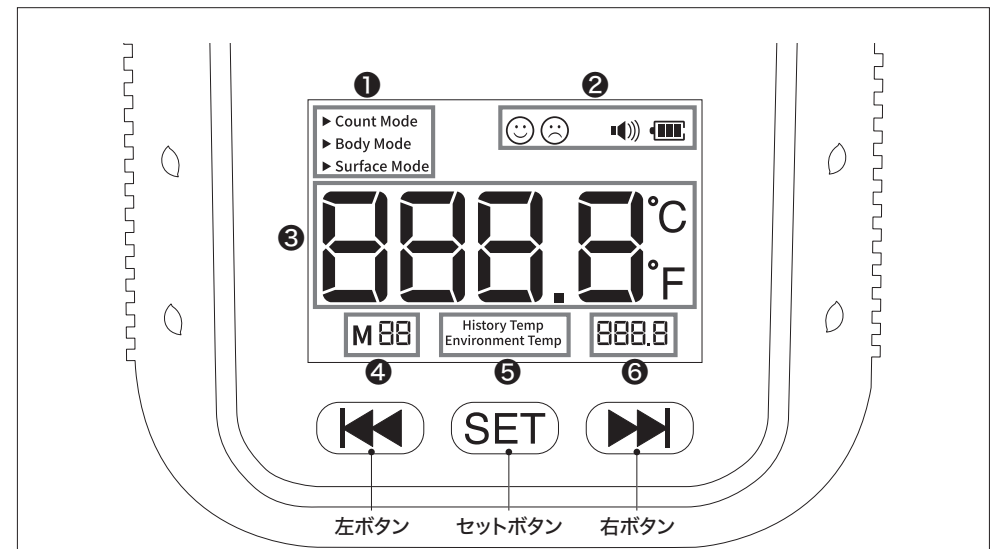


測定時の距離

測定時、対象から5cm～10cmほど距離をあけて測定してください。



画面表示



①測定モード

- カウントモード(CountMode)
温度測定の実行回数を記録するモードです。
- ボディモード(BodyMode)
人体の表面温度を測定するモードです。
- 物体測定モード(SurfaceMode)
人物以外の表面温度を測定するモードです。

②アイコン

😊…温度正常時 ☹️…温度異常時

③温度表示 摂氏(°C) / 華氏(°F)

④過去の測定温度の回数を表示します。

⑤測定履歴の表示

- ヒストリーモード(History Temp)
過去の測定温度の記録を遡るモードです。
- 環境温度モード(Environment Temp)
測定時の室内の温度を表示するモードです。

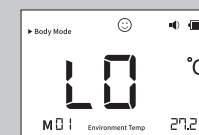
※通常は環境温度モードになっています。
ヒストリーモードに切り替える場合は
左ボタン(◀)右ボタン(▶)を同時に押してください。

⑥環境温度モード(Environment Temp)で測定した結果を表示します。

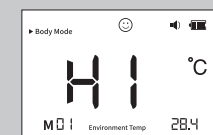
【基本の表示モード】

スタンバイモード

対象を感知しない時間が5秒
続くとLCDのディスプレイ
は自動でOFFになります。



◀LO表示
測定対象の温度
が著しく低い場
合表示されます。




◀HI表示
測定対象の温度
が42°C以上で
表示されます。

2 温度測定センサー

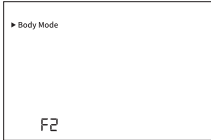
各種設定方法

摂氏(°C)と華氏(°F)の切り替え




画面下の表示が「F1」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)を押すと、摂氏(°C)と華氏(°F)の表示を切り替えることができます。

測定モードの設定



画面下の表示が「F2」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)もしくは**右ボタン**(▶)で、温度測定の変換モードを変更することができます。

警告アラームの設定



異常温度の設定値を超えると警告アラームを鳴らす設定ができます。


画面下の表示が「F3」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)もしくは**右ボタン**(▶)で、36°C~39°Cの間でアラームが鳴る温度の基準値を設定できます。

音量の設定





画面下の表示が「F4」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)もしくは**右ボタン**(▶)で、音量を変更いただけます。

ディスプレイのライトON/OFF



画面下の表示が「F5」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)もしくは**右ボタン**(▶)で、製品のディスプレイのライトのON/OFFの切り替えができます。

音声言語の設定



言語種類は全12ヶ国語
ex. JP:日本語 EN:英語 CH:中国語 OFF:音声なし

画面下の表示が「F6」になるまで**セットボタン**(SET)を押してください。次に**左ボタン**(◀)もしくは**右ボタン**(▶)で、製品の音声言語を変更いただけます。

※設定メニューはF1~7まで切り替えられますが、F7の機能は使用できません。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しております。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

【表示の説明】



してはいけないこと



しなくてはいけないこと



水濡れ厳禁

⚠ 注意事項



本体や付属品は、分解、修理や改造を絶対に行わない。
(発火・感電・ケガの原因になります)



本製品には水をかけたりしない。
(ショート、感電、ケガの原因になります)



子どもや乳幼児の手の届くところで使わない。
(感電・ケガの原因になります)



濡れた手で触らない。



本体やポールの隙間開口部に部品や針金などの金属物を入れない。
(スタンドの内部に入り、ショート、故障、ケガの原因になります)



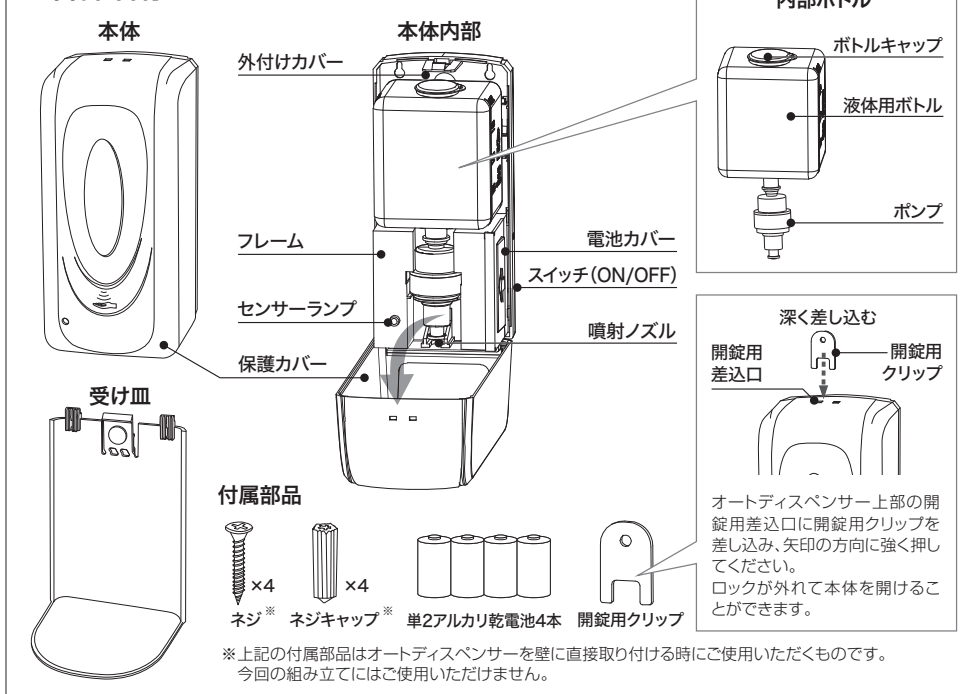
本体に異常が発生した場合はすぐに使用を中止する。
(異常が発生したまま使用を続けると発煙、発火、感電、漏電、ショート、ケガの原因になります)

その他の注意

●本製品は医療機器ではありません。人体の表面温度を測定する製品ですので、正確な温度を測った上で体調不良が否かを判断する場合は最寄りの医療機関にお問い合わせください。●本製品は皮膚の表面温度を測る製品のため、冬季や外出直後に温度を測りますと表面温度が下がり、実際の温度より低く表示される場合がございます。そのため冬季や外出時の際は直後に測定することは避け、しばらく経ってから測定するようにお願いいたします。●本製品は精密機械ですので落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。●本製品は外気の影響により温度測定が不安定になるおそれがありますので室内でのご使用を推奨しております。●屋外で使用する場合は直射日光・高温多湿な環境は避けてご使用ください。●長時間直射日光を受ける場所、冷暖房器具の近くでの使用はおやめください。●火気の近く、高温多湿な場所やガスのある場所での使用はお避けください。●強い磁場が発生する場所では機械に影響を与えるおそれがあります。●保管場所と測定場所の温度差があるときは、本製品を測定場所にしばらく置いてから測定してください。●センサー部が汚れたときは、汚れを拭きとってください。濡らしてよく絞ったティッシュや綿棒、アルコール綿などで軽く拭いてください。●本製品は精密機械です。測定センサー部分は手で触ったり、傷つけたりしないでください。(センサーが破損したり、汚れて正しい測定結果が得られなくなるおそれがあります。)●本製品は防水ではありません。液体(アルコール、水滴、熱湯など)が本体内部に入らないよう取り扱いに注意してください。●分解や修理、改造をしないでください。●新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用することはおやめください。また、種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。●電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚についた場合には、ただちに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。●本製品の廃棄方法は、最寄りの自治体の定めた条例または規則に従ってください。

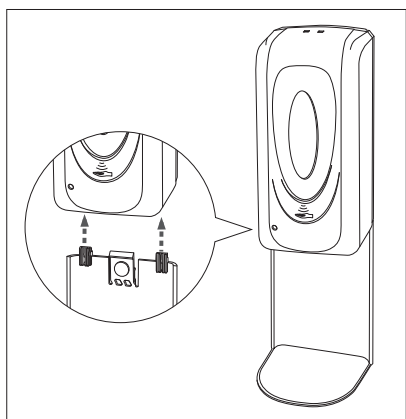
3 オートディスペンサー

■各部名称



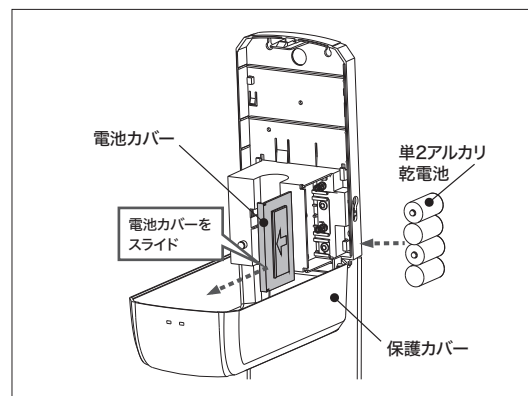
受け皿の組み立て

受け皿の上部ツメを本体の溝に差し込んで組み立ててください。



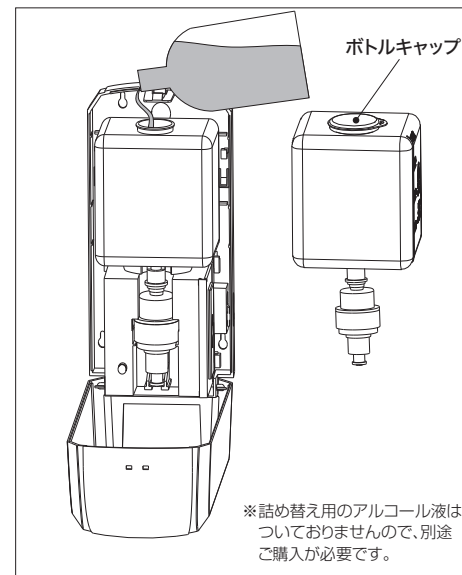
電池の入れ方

オートディスペンサー本体の保護カバーを開け、図のように本体側面にある電池カバーを矢印の方向にスライドし、付属の単2アルカリ乾電池を入れてください。



詰め替え方法

ボトルキャップを開け、液が漏れないように静かに注いで詰め替えを行ってください。
(容量: 1リットル)



消毒方法

ご使用の際は、製品の側面にあるスイッチをONに切り替えて、図のように手をかざしてください。センサーが反応し、噴射ノズルからアルコールが出ます。



お手入れ方法

- 長期間使用しない場合は電池を抜いて、消毒液も取り除いて保管してください。
- 長期間使用していない消毒液は新しいものに入れ替えて使用してください。
- 本体(ボトル以外)は防水ではないので水に濡らさないでください。
- ボトルは水洗いすることができます。水洗いした後は清潔な柔らかい布で拭き取ってご使用ください。
- センサー部分が汚れたときは、汚れを拭きとってください。ぬらしてよく絞ったティッシュや綿棒、アルコール綿などで軽く拭いてください。
- 廃棄方法は、最寄りの自治体の定めた条例または規則に従ってください。

使用上の注意点

- オートディスペンサー本体を強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 直射日光、高温多湿の場所は避けて保管してください。
- 火気・熱源のあるものの近くには設置しないでください。
- 製品に異常が発生した場合はすぐにご使用を中止してください。
- 製品のボトルにはアルコール液以外のものは入れないでください。故障の原因となります。
- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- 長期間使用しない場合は電源を切ってください。
- 受け皿にはタオルなど、物を置くのはおやめください。センサーが誤作動を起こしてしまう可能性があります。